

日本初上陸！話題のティム・バートンの没入型展覧会「ティム・バートンのラビリンス」

報道発表会にオフィシャルサポーター・板垣李光人さんが登場！

ティム・バートン氏からのメッセージも到着！

皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

LETSGO Japan は、ティム・バートンとのコラボレーションにより、体感型展覧会「ティム・バートンのラビリンス (Tim Burton's Labyrinth)」を、2026 年 11 月 25 日(水)から 2027 年 2 月 21 日(日)まで「CREVIA BASE Tokyo (東京・豊洲)」にて開催します。

2022 年にスペインのマドリッドで開幕して以来、5 カ国 8 都市を巡回し、これまでに 100 万人以上の来場者を魅了してきた「ティム・バートンのラビリンス」が、ついに日本初上陸を果たします！

本日 9 月 8 日(火)、TODA HALL & CONFERENCE TOKYO (東京都中央区) にて本展の報道発表会を実施しました。日本初上陸にあたりティム・バートン氏から「10 年ぶりに、再び日本で展覧会を開催できることをとても嬉しく思っています。子どもの頃から日本の怪獣映画や SF 作品を観て育ったので、日本はいつも私の心の中にあります。日本の文化や創造性は、今も私にとって大きなインスピレーションの源です。日本に来るのが大好きなのは、ここでたくさんの芸術的な刺激を受けるからです。特に、再び東京に戻ってこられたことをとても嬉しく思っています。東京は、いつも私に新しいアイデアを与えてくれる場所です。」とメッセージが届きました。

そして本展オフィシャルサポーターの俳優の板垣李光人さんが登壇しトークセッションを行いました。板垣さんは「ティム・バートン監督の世界観に魅了されて、20 年ぐらいになります。幼稚園生の時に会って、そこからずっと大好きなので、今回オフィシャルサポーターのお話をいただいた時は、耳を疑いましたしとても驚きました。こういった形でティム・バートン監督とお仕事をご一緒させていただけたらいいなと思っていなかったのですが、本当にうれしかったです。」とオフィシャルサポーター就任について語りました。

ティム・バートン監督作品について「大好きなのは『ナイトメアー・ビフォア・クリスマス』です。DVD が擦り切れそうになるぐらいの勢いで、ずっと見ていました。サウンドトラックも好きすぎて、両親が CD を買ってくれました。主人公のジャックはチャーミングで可愛らしい部分を非常に感じられるキャラクターですし、キャラクターデザインももちろんすごく好きです。あのストライプの衣装も好きですね。そして、すごくマニアックなんですけどロック、ショック、バレルがとても好きなんです。ロック、ショック、バレルがバスタブに乗って移動するシーンのフィギュアは当時買ってもらったものを今でも持ち続けています。そう考えると、本当にすごく長い間惹かれ続けているんだなと、改めて感じます。」と大好きぶりが伺えます。そして、ティム・バートン監督と一緒に仕事するなら「彼の監督としてのディレクション、彼の世界の中でのディレクションで動きたいという欲が、役者としてもあります。作品的にはビジュアルが強い『シザー・ハンズ』だったり、『ミス・ベレグリンと奇妙なこどもたち』のような、不思議な家族の一員みたいな。妄想はいくらでも膨らみます。もしそんな日が来たらうれしいなと思っています。」と笑顔で答えました。

展覧会で特に楽しみにしているポイントは「扉を開けて進む、というのが本当に監督らしいなという感じがしています。『ナイトメアー・ビフォア・クリスマス』の、たくさん扉があってそこを開けると違う世界が待っているというシーンを彷彿とさせます。まさしく監督の脳内に入り込めるような体験がこの場でできるというのは、ファンの方にとってはすごく楽しみなところだと思いますし、そうでない方でも、一度入ったら魅了されることは間違いのないんじゃないかなと思っています。そして、見るだけではなくて、五感を使えるというのが、僕自身もとても楽しみにしているポイントであり、特徴なのかなと思います。『ティム・バートンのラビリンス』日本に来るといのは、やっぱり興奮しますね。今まで世界で開催されてきた様子を、写真などで見ていましたが、それを生で実際に体感できるということが本当に楽しみです。」と語りました。

そして開催を楽しみにしている皆さんへ「ティム・バートン監督の世界、そして頭の中を、見るだけではなくて、先ほどお話ししたように、自分の五感を使って感じていただける機会というのは、そうそうないと思います。自分自身もとても楽しみにしていますし、もちろん、あまり作品を見たことがないという方でも楽しんでいただける空間が待っているんじゃないかなと思います。ぜひ全身を使ってドアを開けて、迷宮に迷い込んで、そういった楽しさを味わっていただきたいなと思っています。11月が僕も待ちきれないですが、この高揚感をぜひそこまで温めて、一緒に楽しめたらいいなと思っています。」とメッセージを送りました。



オフィシャルサポーター・板垣李光人さん

そして、報道発表会のためにスペインより来日した本展クリエイティブディレクター、フェリペ・デ・リマは「この展覧会はこれまで、パリ、ベルリン、メキシコ、ブリュッセルなど世界各地を巡ってきました。『ティム・バートンのラビリンス』という展覧会は世界に一つしかありません。今回はそのたった一つしかない展覧会が東京にやってきます。せっかく日本で開催できるので、東京の方だけではなく、日本各地から多くの方に来ていただき、この素晴らしいクリエイターの作品を実際に体験してほしいと思っています。」

『ティム・バートンのラビリンス』はティム・バートン氏と一緒にゼロから作り上げたもので、コンセプトは“遊びながらティム・バートンの世界観を体験すること”です。

この展覧会は、ただ作品を見るための場所ではありません。自分で扉を選び、自分の足で進み、自分だけのルートを作ること、ティム・バートンの世界そのものに迷い込んでいくようなアドベンチャーになっています。会場では、ティム・バートン本人によるスケッチもご覧いただけます。『シザー・ハンズ』や『アリス・イン・ワンダーランド』などにまつわるスケッチを含め、約200点の作品を見ることができます。ティム・バートンは映画監督であると同時に、一人のアーティストでもあります。映像作品だけではなく、彼自身が描いたスケッチやさまざまな作品を通して、どのようにアイデアが生まれ、どのような世界が彼の頭の中にあるのかを感じていただけたと思います。来場者自身が遊びながら、発見しながら、ティム・バートンの頭の中に入り込んでいくような体験をしてもらうことを大切にしています。ぜひ、この世界に一つしかない特別な展覧会に足を運んでいただきたいです。

最後に、日本の皆さんがこうして私たちを温かく受け入れてくださったことに、とても感謝していますし、感動しています。日本の皆さんのおもてなしにも心から感謝しています。ぜひ多くの方に、このラビリンスを実際に体験していただけたらうれしいです。」と日本初上陸、かつアジア初開催の本展の見どころを語りました。



本展クリエイティブディレクター、フェリペ・デ・リマ

本展は、迷路のような会場内で自ら扉を開け、ルートを選択しながら進んでいくと、『シザー・ハンズ』『ビートルジュース』『スウィーニー・トッド フリート街の悪魔の理髪師』『チャーリーとチョコレート工場』『ナイトメア・ビフォア・クリスマス』など、数々の名作に登場する個性豊かなキャラクターたちに出会

うことができます。

さらに、日本初公開の作品を含む 150 点以上のオリジナルスケッチも展示され、ティム・バートンの創造性の原点を探る貴重な機会となっています。彼自身が「ファンハウス（お化け屋敷・からくり屋敷）」と表現するその世界をさまよい、彼の頭の中に入り込んだかのような没入感を味わえる、これまでにない体験型展覧会です。

本日 9 月 8 日(火)より前売チケットが一般発売開始となりました。詳しくは公式サイト

(<https://tokyo.timburtonexhibition.com/>) をご確認ください。

日本初上陸！話題のティム・バートンの没入型展覧会「ティム・バートンのラビリンス」は今年 11 月 25 日(水)開幕です。皆様、ご期待ください！！

【開催概要】

名 称：ティム・バートンのラビリンス

会 期：2026 年 11 月 25 日(水)～2027 年 2 月 21 日(日)

会 場：CREVIA BASE Tokyo [東京・豊洲]

所在地：〒135-0061 東京都江東区豊洲 6-4-25

アクセス：ゆりかもめ「市場前」駅徒歩 3 分

開館時間：月・水・木曜日：10:00 - 19:30

金・土曜日：10:00 - 22:00

日曜日：10:00 - 20:00 ※時間は変更になる場合がございます。

休館日：毎週火曜日、2027 年 1 月 1 日(金)、2 日(土)

入場料：

日時指定券(税込)	月～木	金	土・日・祝
一般	¥4,400	¥4,700	¥5,000
学生(中・高・大学生)	¥3,500	¥3,800	¥4,000
こども(4～12歳)	¥2,200	¥2,300	¥2,500
3歳以下★要チケット	¥0	¥0	¥0
障害者割引	¥2,200	¥2,300	¥2,500
プレミアムチケット★	¥9,000	¥9,500	¥10,000

★プレミアムチケットは、本展を同日に2周できて、本展オリジナルのアートワーク付きのチケット

★3歳以下も要チケット。保護者のチケット購入時に、無料の「3歳以下」チケットを人数分お申し込みください。

※学生・障害者は入場時に証明書の提示が必要

公式チケット：FEVER

※チケット情報は公式サイトでご確認ください。

公式サイト：<https://www.tokyo.timburtonexhibition.com/>

公式 SNS：【X】@tb_labyrinth_jp

【Instagram】@tb_labyrinth_jp

【Facebook】<https://www.facebook.com/timburtonthelabyrinth/>

主 催：LETSGO Japan

【「ティム・バートンのラビリンス」巡回実績】

●マドリード（スペイン）

会期：2022 年 9 月 29 日～2023 年 4 月 9 日 20 万人来場

会場：Espacio Ibercaja Delicias - Sala Multiusos（ティム・バートンオリジナルテント）

●パリ（フランス）

会期：2023 年 5 月 19 日～8 月 20 日 24 万人来場

会場：Espace Chapiteaux, Parc Villette（ティム・バートンオリジナルテント）

- ブリュッセル（ベルギー）
会期：2023年10月20日～2024年2月4日 12.5万人来場
会場：Sheds, Tour & Taxis
- バルセロナ（スペイン）
会期：2024年3月8日～6月16日 15万人来場
会場：Pavelló 7, Palau Victòria Eugènia
- ベルリン（ドイツ）
会期：2024年7月19日～11月3日 10万人来場
会場：Radsetzerei
- ミラノ（イタリア）
会期：2024年12月12日～2025年3月9日 18万人来場
会場：Fabbrica del Vapore
- メキシコシティ（メキシコ）
会期：2025年6月26日～12月14日 35万人来場
会場：Casino del bosque, Avenida Constituyentes

【Tim Burton |ティム・バートン プロフィール】

ティム・バートンは、映画界で最も独創的で視覚的な表現力を持つ映画監督・アーティストのひとりとして広く知られています。カリフォルニア州バーバンクに生まれた彼の独特なクリエイティブ・ビジョンは、何世代にもわたり世界中の観客を魅了し続けてきました。

映画監督としての地位を確立するはるか前から、デッサン、絵画、写真を通して自身の創造性を表現していました。異様でありながら気まぐれで、そして深く魅惑的な彼の想像世界と独特の美学、ストーリーテリングのスタイルは、現代映画に多大な影響を与え続けており、今なお世界中のファンにインスピレーションを与え続けています。

代表作：『ビートルジュース』『シザーハンズ』『ナイトメア・ビフォア・クリスマス』『チャーリーとチョコレート工場』『アリス・イン・ワンダーランド』

【本展を制作する LETSGO（レッツゴー）カンパニーについて】

LETSGO カンパニーは、ショーおよび文化体験の企画・制作を手がけるグローバル企業。創造性とテクノロジーを融合し、世界中の観客を魅了するプロジェクトを展開しています。ライブショー、没入型体験、自社施設という3つの柱を軸に、『オペラ座の怪人』や完全没入型ミュージカル『キャバレー』などを成功させてきました。現在は、ヨーロッパ、北米、中南米を中心に事業を拡大し、文化とエンターテインメントを革新的に融合させる取り組みを推進しています。

【報道関係 お問合せ先】

「ティム・バートンのラビリンス」 広報事務局 担当：川上・菅森・嵯峨根

E-Mail. press-room@tmcl.jp

TEL:090-7355-9643(川上)、090-8851-8830(菅森)、090-7286-9758(嵯峨根)